

## 4 その他

### 4-1 学位取得者

称 号	取得大学	論 文 題 目	氏 名	取得年月日
農学博士	九州大学	Identification and specific detection of basidiomycetes by molecular biological methods	須原 弘登	平成15年 6月30日
農学博士	九州大学	高温低湿乾燥法におけるスギ心持ち柱材の乾燥性に関する研究	小田 久人	平成18年 3月27日
農学博士	京都大学	ラグスクリーボルトの耐力発現機構の解明と木質ラーメン構造への応用に関する研究	中谷 誠	平成18年 5月23日
農学博士	九州大学	スギ厚板の構造的利用、とくに合わせ梁と集成材への応用に関する研究	田中 洋	平成21年 3月24日
農学博士	九州大学	ホットプレスによるスギ心持ち柱材の表面割れ抑制処理に関する研究	松元 明弘	平成24年 3月27日
工学博士	大分大学	中・大径丸太から得られたスギ製材の建築構造材への適用に関する研究	椎葉 淳	平成26年 3月25日

## 4-2 表彰者

受賞年月	賞の名称	受賞者名	授与機関名	受賞内容
H14.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	木材利用技術センターの設立功績及び技術指導実績
H16.2.5	全国林業試験研究機関協議会研究功労賞	荒武志朗	全国林業試験研究機関協議会	スギの材質推定と長期耐力評価に関する研究
H16.2.21	日本木材学会地域学術振興賞	荒武志朗	日本木材学会	スギの材質推定と長期耐力評価に関する宮崎県地域における学術発展と研究成果の普及
H16.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	県産スギ集成材を使用した木の花ドームの建設
H18.10.8	日本木材学会九州支部黎明研究者賞	森田秀樹	日本木材学会九州支部	丸太選別及び木取りによる構造用集成材スギラミナの歩留り向上(第2報)
H20.2.7	全国林業試験研究機関協議会研究功労賞	小田久人	全国林業試験研究機関協議会	九州産スギ材の材質と心持ち柱材の乾燥性に関する研究
H20.7.4	宮崎県知事表彰	小田久人	宮崎県	高温乾燥法によるスギ心持ち柱材の乾燥性に関する研究による博士学位取得等
H23.2.5	土木学会デザイン賞 2010 最優秀賞	木材利用技術センター	土木学会	堀川運河の「夢見橋」構造検討・設計協力並びにボードデッキ設計協力
H23.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	スギとヒノキを用いた構造用異樹種集成材の開発
H27.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	綾中学校校舎の建築に係る技術支援
H28.3.29	日本木材学会地域学術振興賞	小田久人	日本木材学会	南九州における地域材利用技術の開発と木材産業への貢献

#### 4-2 表彰者 (つづき)

受賞年月	賞の名称	受賞者名	授与機関名	受賞内容
H28.3.29	第 66 回 日本木材学会大会 優秀ポスター賞	堂籠究・須原弘登	(一社)日本木材学会	スギエダタケを用いたスギ成分の生物変換
H29.3.24	宮崎県総務部長賞	木材利用技術センター	宮崎県	県庁本館における木質化の取組
H29.7.1	宮崎県環境森林部長賞	木材利用技術センター	宮崎県	本県公共建築物の木造率の向上及び県産材の利用促進
H29.9.29	「科研費」審査委員表彰	荒武志朗	独立行政法人日本学術振興会	公平・公正な審査への貢献
H30.3.16	第 68 回 日本木材学会大会 優秀ポスター賞	須原弘登 他 5 名	(一社)日本木材学会	未利用木質資源の半炭化処理による利用法
R03.11.19	日本木材学会九州支部黎明研究者賞	川元悠太郎	日本木材学会九州支部	MLT(Miyazaki Laminated Timber)を用いた耐力壁の開発
R04.3.15	第 31 回 日本木材学会地域学術振興賞	中谷誠	日本木材学会	中・大規模木造建築物接合部の研究成果に基づいた宮崎県の非住宅建築物の木造化への貢献

### 4-3 客員研究員

研究体制の充実強化及び研究員の資質の向上を図るため、第一線で活躍している研究者を招へいする客員研究員制度を実施している。併せて、客員研究員による県内企業への技術指導を実施している。

氏名	所属・役職	専攻分野	期間	研究実施内容
長尾博文	(元職)国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所構造利用研究領域研究専門員	ライフサイエンス 木質科学 木材強度	R05.10.24 ~10.25 R06.3.21 ~3.22	研究内容指導
松竹昭彦	一般社団法人宮崎県建築士会 会長	—	R06.2.9	成果報告会講演 「新たに広がる木造建築に向けて…」
荒武志朗	(元職)木材利用技術センター	木質材料学	R05.1.17 ~18	大径材技術開発に関する講演会 研究内容指導

### 4-4 視察者

(単位：人)

年度	件数	人数
R05	111	1,582

※視察者とは見学者を含む



